

外部評価結果及び反映状況等について

課題名 横浜市内産植木の安定生産に向けた取組み支援

○評価結果：A（良好）

【評価すべき点】

- ・都市型産地の特徴である少量多品目を理解した上で、県育成品種等を活用した産地としての生産支援を行っている。
- ・個別巡回指導により、それぞれに必要な指導ができており、その上で、展示圃等をうまく活用した普及指導活動がはっきり見えた

【改善すべき点】

- ・課題に、活動対象がどういう状態になるのが望ましいか書いてほしい。
- ・流通の複雑さはあるが、JA以外とも連携できないか検討してほしい。
- ・成果目標の根拠を説明できるようにしてほしい。

【その他（要望等）】

- ・県育成品種であることをさらにアピールするとよい。
- ・樹種が多いので大変だと思うが、栽培マニュアルなどの資料を作してほしい。
- ・収益性の視点もあるとよい。

○評価に対する改善策等

- ・活動対象の望ましい状態は、目的に記載したとおり、横浜推奨樹種を全戸で導入、定着及び安定生産を図れていることです。
- ・横浜市の農政部局には情報提供を行っていますが、今後は緑化事業で植木の利用先である建築部局などに働きかけます。
- ・成果目標の根拠はありませんが、ゼロからのスタートなので最初の目標を20件としました。
- ・今後も横浜国際園芸博覧会などの展示会や緑化事業等で、県育成品種をPRすることができる施策を、関係機関に継続して働きかけていきます。
- ・生産現場の意見、状況等をフィードバックし、栽培マニュアル作成のために必要な収益性の視点も含めたデータを研究部門の協力を得て収集し、県育成品種の栽培マニュアル等資料の作成を行っていきます。

○次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）

- ・本課題は当初の目的を達成したため、令和6年度で完了します。今後は、県育成品種を含む推奨樹種の作付け農家の増加やPRの支援を図ります。

外部評価結果及び反映状況等について

課題名 カンキツ産地の活性化に向けたレモンの生産振興支援

○評価結果：A（良好）

【評価すべき点】

- ・レモンをブランド化して安定的に出荷するために何をすべきか明確である。
- ・JAと密に連携が取れている。
- ・マニュアルを作り、講習会を定期的実施している。

【改善すべき点】

- ・レモン新植者が、今まで普及と関わりがなかったことに触れるとよい。
- ・マニュアルの実施率を増やすために栽培管理の動画やテキストなどを活用して伝えられるとよい。
- ・農家が導入するかの重要な判断材料になるので、生産コストや費用対効果が分かるようにしてほしい。

【その他（要望等）】

- ・普及活動がどのように成果目標の達成につながるのか説明が足りなかった
- ・競合産地の現状をおさえて進めてほしい。

○評価に対する改善策等

- ・マニュアルの実施率を上げるため、動画や写真等を多く使用した指導方法を検討していく他、幼木期の適切な管理による早期収穫の収益性を数字や図表に示した資料を作成し、一層の実施率の向上を促します。
- ・今後、レモンの導入を検討している農業者には、導入の判断材料として、想定される売上げや生産コスト等の経営指標を示していきます。
- ・流通を担うJAかながわ西湘と連携し市場の動向を注視しつつ、実需者に選ばれるブランド確立に向け引き続き技術指導を進めていきます。

○次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）

- ・活動内容や方法について改善策のとおり対応いたします。